



議会報

ならは



子ども神輿も参加しました・・・大瀧神社例大祭(4月14日)

■ 平成31年3月定例会 会期 3/7(木)～11(月)

- ▶ 平成31年3月定例会……………2～5ページ
- ▶ 臨時議会……………5ページ
- ▶ 全員協議会……………6ページ
- ▶ 町政を問う【一般質問】……………7～8ページ
- ▶ 委員会のうごき……………9～11ページ
- ▶ 議会の足跡／開会予定……………12ページ

令和元年

第184号

6月5日
発行

平成31年3月定例会

平成31年度当初予算を含む、28案件を議決



3月定例会の様子

平成31年第3回3月定例会は、3月7日から11日までの5日間（9日、10日は休会）の会期で行われました。

提案された条例制定2件、条例改正8件、条例廃止1件、補正予算6件、平成31年度予算6件、工事請負契約の変更3件、副町長選任の同意1件、人権擁護委員候補者の諮問1件の計28件について、慎重に審議された結果、原案どおり可決・同意されました。

平成31年度当初予算

一般会計

《予算総額》

119億3,600万円

（前年比：19億7,050万円（19.8%）の増）

《歳入のうち自主財源：町税等》

45億0,422万9千円（全体の37.8%）

（前年比：2億0,869万6千円（4.4%）の減）

《歳入のうち依存財源：国県支出県等》

74億3,177万1千円（全体の62.2%）

（前年比：21億7,919万6千円（41.5%）の増）

《歳出のうち義務的経費：人件費、公債費、扶助費》

15億0,464万8千円（全体の12.6%）

（前年比：7,122万1千円（4.5%）の減）

《歳出のうち投資的経費：普通建設事業費、災害復旧事業費等》

48億3,721万7千円（全体の40.6%）

（前年比：21億7,577万4千円（81.8%）の増）

◆主な事業

●甘藷等施設整備事業	22億4,190万8千円
●トマト栽培施設整備事業	6億9,043万2千円
●新(再生可能)エネルギー導入推進事業	5億4,500万0千円
●木屋・小六郎線自由通路整備事業	4億3,500万0千円
●津波被災地区復興再生事業	1億2,405万3千円

◆可決【賛成全員】

国民健康保険特別会計

《予算総額》

14億2,712万8千円
(前年比：1億2,249万8千円
(7.9%)の減)

●主な事業
一般被保険者療養給付費

10億6,084万8千円
◆可決【賛成全員】

下水道事業特別会計

《予算総額》

5億2,322万1千円
(前年比：5,394万2千円
(11.5%)の増)

●主な事業
下水道事業債償還金

1億9,391万円
◆可決【賛成全員】

住宅用地造成事業特別会計

《予算総額》

99万円
(前年比：1億3,266万3千円
(99.3%)の減)

●主な事業
住宅用地造成事業費

98万9千円
◆可決【賛成全員】

介護保険特別会計

《予算総額》

9億6,679万9千円

(前年比：5,645万5千円
(6.2%)の増)

●主な事業
施設介護サービス保険給付費

4億1,943万6千円
◆可決【賛成全員】

後期高齢者医療特別会計

《予算総額》

3,173万7千円
(前年比：102万4千円
(3.1%)の減)

●主な事業
後期高齢者医療広域連合納付金

2,838万7千円
◆可決【賛成全員】



完成した大坂地区集会所

平成31年度東日本大震災等による被災者に対する国民健康保険税等の減免に関する条例の制定

●被災者の経済的負担の軽減を図るため、平成31年度の国民健康保険税及び介護保険料について、減免措置の規定を整備するため制定。

◆可決【賛成全員】

地域振興基金条例の制定

●町が行う地域振興事業に要する資金を積立てることを目的とした基金を設置するため制定。

◆可決【賛成全員】

行政区設置条例の改正

●行政区の再編に伴い、行政区長の定数並びに区域を見直すため一部改正。

◆可決【賛成全員】

地区集会所条例の改正

●大坂、前原、波倉地区における地区集会所の移転に伴い、当該地区集会所の位置を変更するため一部改正。

◆可決【賛成全員】

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の改正

●行政手続における特定の個人を識別するための番号を利用するための法律が改正されたことに伴い一部改正。

◆可決【賛成全員】

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

●労働基準法が改正されたことに伴い、正規の勤務時間以外の時間における勤務に関する規定を整理するため一部改正。

◆可決【賛成全員】

職員の給与に関する条例の改正

●県人事委員会の給与勧告に基づき通勤手当の支給額、期末手当の算定基礎額に乗ずる割合の改定を行うため一部改正。

◆可決【賛成全員】

条例の改正／廃止

補正 予算

ならは温泉源泉条例の改正
●ならは天神岬温泉、ならは羽黒山温泉の源泉位置を変更するため一部改正。

◆可決【賛成全員】

道の駅ならは条例の改正
●道の駅ならはを再開するにあたり、東日本大震災以降の社会情勢の変化を踏まえ、入浴施設の使用料を改定するため一部改正。

◆可決【賛成全員】

雇用促進住宅条例の改正
●平成23年3月11日現在、榎葉町に住所を有していた者及び現に雇用促進住宅に入居していた者の雇用促進住宅に係る家賃について一部免除するため一部改正。

◆可決【賛成全員】

ならは白鳥の館管理条例の廃止
●東日本大震災の影響により公の施設としての使用が困難となった白鳥の館について、公の施設としての用途を廃止するため廃止。

◆可決【賛成全員】

一般会計(第9号)

《補正額》 3,361万円減額

《予算総額》

143億4,189万円

●主な補正事業

住宅用地造成事業特別会計繰出金

4億2,543万9千円

◆可決【賛成全員】

国民健康保険特別会計(第3号)

《補正額》

1億0,354万円減額

《予算総額》

19億6,213万4千円

◆可決【賛成全員】

下水道事業特別会計(第3号)

《補正額》 325万8千円減額

《予算総額》 4億9,312万円

◆可決【賛成全員】

住宅用地造成事業特別会計(第3号)

《補正額》

4億0,487万7千円増額

《予算総額》

5億0,667万8千円

●主な補正事業

一般会計繰出金

4億0,507万8千円

◆可決【賛成全員】

介護保険特別会計(第3号)

《補正額》

1,049万8千円増額

《予算総額》

10億5,545万8千円

●主な補正事業

施設介護サービス保険給付費

876万4千円

◆可決【賛成全員】

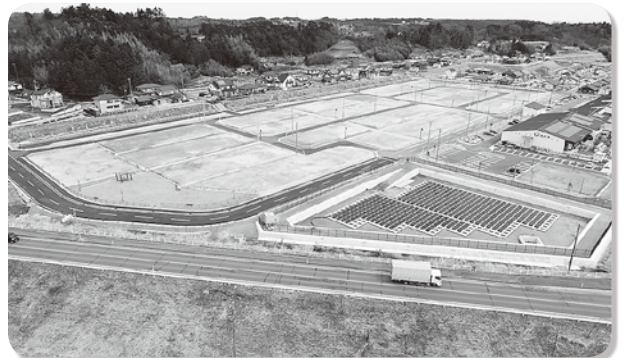
後期高齢者医療特別会計(第3号)

《補正額》

108万8千円減額

《予算総額》 3,478万2千円

◆可決【賛成全員】



完成した中満南分譲地(2期)

同意／諮問

副町長の選任

●大和田 賢司氏(下小埜)

※再任

副町長大和田賢司氏が平成31年3月31日をもって任期満了となるため再任。

◆同意【賛成8／反対2】

人権擁護委員候補者の推薦

●青木 ひろみ氏(大谷)

※新任

委員1名が6月30日をもって任期満了となるため、候補者を推薦。

◆可決【原案答申】

3月定例会

工事請負契約変更

ため池放射性物質対策工事

● 契約相手 草野建設株式会社
● 変更前
9,645万1,560円

● 変更後
8,904万0,600円
(741万0,960円減額)

◆ 可決【賛成全員】

道の駅ならは災害復旧工事

● 契約相手 株式会社加地和組
● 変更前
3億9,960万0,000円

● 変更後
4億0,883万0,760円
(923万0,760円増額)

● 増額理由 事務室中央監視パネルの復旧等による増額変更。

◆ 可決【賛成全員】

笑ふるタウンならは西側調節池太陽光発電設備設置工事

● 契約相手 植田電機株式会社
● 変更前
8,098万9,200円

● 変更後
7,965万2,160円
(133万7,040円減額)

◆ 可決【賛成全員】

臨時議会

平成31年3月
臨時議会
会期 平成31年3月25日

工事請負契約締結

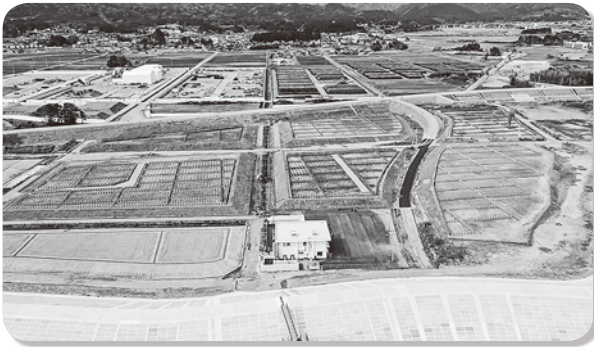
前原地区排水路整備工事

● 契約相手 株式会社彩輝
● 変更前
7,916万4,000円

● 変更後
8,908万9,200円
(992万5,200円増額)

● 増額理由 現地測量により、張ブロック工の増加等による増額変更。

◆ 可決【賛成全員】



前原地区

請願・陳情書を提出される方へ

請願・陳情書の記載内容や添付書類などに不備がある場合、受け付けが出来ないことがございますので、ご注意ください。

《留意事項》

- 一つの案件ごとに作成してください。
- 提出年月日、住所、氏名、電話番号を記載し押印をお願いします。
- 請願者が多数の場合は、ほか〇〇名と付記し、別紙として、全員分の住所、氏名、押印がされている連名書または同意書等を添付してください。
- 請願には必ず、議員1名以上の署名押印が必要（陳情の場合必要なし）です。
- 内容には、何をどの様に処理して欲しいか等具体的に明記してください。
- 意見書や要望書等の提出を求める場合は、その案文を必ず添付してください。
- 提出は、次期定例会のおよそ10日前までに提出をお願いします。
- その他、関係する書類等があれば添付してください。

<p>(表紙) 【請願書の様式例】</p> <p>※特に様式に決まりはありませんが、例文に記載された事項について明記の上、提出してください。</p> <p>〇〇〇〇〇〇に関する請願(陳情)書</p> <p>紹介議員 氏 名 印 (陳情の場合は、紹介議員は不要)</p>	<p>(本文)</p> <p>1 件名 〇〇〇に関する請願(陳情)書 (内容を端的に表す件名を書く)</p> <p>2 請願(陳情)の趣旨 (請願(陳情)の目的を簡潔に書く)</p> <p>3 内容 (請願(陳情)の内容やどのような対応をしてほしいかを具体的に書く。なお、意見書等の提出の場合は意見書案文を添付し、提出先等を明記。)</p> <p>上記のとおり請願(陳情)いたします。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>楢葉町議会議長 青木 基 様</p> <p>請願者 住所(県から記入) 印 氏名 電話番号</p>
--	---

全員協議会で、協議された事項についてお知らせします

開会日：平成31年2月25日（月）



オープンしたならばスカイアリーナ

屋内体育施設「ならばスカイアリーナ」の運営について
説明：教育総務課

- 指定管理者
株式会社Jヴィレッジ
- 営業時間 9時00分～21時00分
- 休館日 毎週水曜、年末年始
- 指定管理者による職員配置計画
正規職員6名 非正規職員5名 計11名
- 指定管理料
1,578万9,202円
- 指定管理者支出見込額
5,888万9,202円
(人件費、事業経費、事務費)
- ※光熱水費見込額3,300万円は、町が負担する。
- 利用料金収入見込額
4,100万円

開会日：平成31年3月25日（月）

原子力災害広域避難計画(案)について
説明：くらし安全対策課

- 修正前の広域避難計画
平成26年6月策定
- 修正の目的
- ① 町の地域防災計画上、原子力災害対策重点区域が、平成31年1月に修正された。
- ② 避難計画の対象人口が、3,000人から約5,000人に増加。
- 修正のポイント
- ① 《修正前》 木戸川の南北で対応が異なる。
- 《修正後》 全町統一した対応を図る。判断や町民への指示、対応がシンプルになった。
- ② 《修正前》 一時集会所（自家用車で避難できない住民が町の準備するバス等で避難する際の集会所）が、南小学校1ヶ所のみ。
- 《修正後》 新たに多目的広場兼駐車場（整備予定：山田岡字小堤地内）を指定。
- ③ 《修正前》 避難先施設12施設。
- 《修正後》 20施設に増加。福祉避難所も、会津美里町の計4施設を確保。

財政運営戦略(本格復興編)について
説明：総務課

- 策定の目的
限られた財源の中で、町民のニーズに迅速かつ的確に対応し、安定した財政構造の構築を目指す。
- 計画期間
2019～2023年度の5年間
- 財政健全化に向けた具体的な取組み
- ① 内部統制の構築
- ・予算配分の意思決定やすく、体制など強固な行政基盤の構築。
- (例) ◆ 交際費執行基準の作成、公表ルール等の検討
- ◆ 町の各種イベントの調整 等
- ② 歳入の確保
- ・各種財源確保に向けた取組み。
- (例) ◆ 受益者負担の適正化
- ◆ 不必要な施設の売却 等
- ③ 歳出の削減
- ・財源をより賢く活用する取組み。
- (例) ◆ 委託業務の見直し
- ◆ 事業仕分け 等
- 取組みによる効果見込額
10億6,392万円（5年計）
- 財政シミュレーション
- 《取組前》 毎年度収支が赤字のため基金を取崩す必要あり。
- 《取組後》 2022年度から収支が黒字化する見込み。

町政を問う！

宇佐見 雅夫 議員



◆交流人口の増加が植葉を変え、その政策について

本格的な帰町が始まってから1年になるが、町内居住者は約3,600人、52%に留まり、震災前の人口回復は見通せない状況にある。国の交付金等で整備した様々な施設を活用するには、一定の人口増加に係る対策に力を傾注すべきである。

問 全国的に注目されるような特色あるイベントを考え、交流人口を拡大すべきと思うが。

答 (町長) 日本最大規模の全天候型練習場という新たな付加価値を備え、新生Jヴィレッジとして昨年夏に再スタートし、Jヴィレッジハーフラソンを企画した。このような大規模なイベントを、来町者を増やす一大事業と位置付け大々的にPRし、交流人口の拡大に取り組みたい。

問 Jヴィレッジは、大きく交流人口が拡大することだが、天神岬スポーツ公園は、地理的条件が非常に良い。活用するためにも、国道6号線から宇宙桜のブロムナードとして、桜を植えてはどうか。

答 (復興推進課長) 観光拠点の天神岬に通ずる重要路線であり、平成26年度ごろ、6号国道から坂の上がり口まで植栽をした。登り口から公園入り口までの現状を見て、桜並木の形成が可能かどうか、今後検討して進めていく。

問 天神岬スポーツ公園で、交流人口拡大を採る一つの方向性として、自転車レースの大会を計画してはどうか。天神岬から木戸ダム、乙次郎まで行つて戻ってくる約40kmになる。「42・195ゆずの里自転車ロードレース大会」のようなインパクトのある名前をつけて、県の自転車競技連盟も巻き込みながら、海、山、川を周遊できるコースで実施できるイベントかと思うが。

答 (町長) 復興事業が進む中、交流人口を増やすための策を行政としても考えていきたい。

問 天神岬スポーツ公園は、太平洋を一望できる標高40mの高台に位置し、地理的特性を有している。この特性を生かすような遊具を建ててはどうか。

答 (町長) 新たな遊具の整備を含め、財源や維持費等を精査しながら、公園の魅力を一層高めていきたい。

問 眺望の良さという特性を生かし、植葉に行けばこれが楽しめるというよな、より高い、展望台の整備を検討してはどうか。

答 (新産業創造室長) 公園整備の財源がなかなかないため、整備後の維持費等を精査しながら考えていかなければいけないと思っている。

問 天神岬のアヤマ池北側の山林を公園化する計画が過去にあったが、実現しなかった理由は。今後、交流人口拡大の観点から、実現に向けて取り組む考えがあるのか。

答 (町長) 天神岬スポーツ公園の拡充計画として、平成20年度に基本計画を作成している。既存の公園北部、約4haの中にスポーツ施設や健康増進施設等を取り入れる計画だったが、震災により実現しなかった。町を取り巻く環境の大きな変化を勘案しながら、天神岬スポーツ公園の整備拡充に取り組んでいきたい。

提言 町で誇れる、人を呼べるのはJヴィレッジと天神岬。利用拡大する意味で、前向きに考えてほしい。

◆総合型体育施設(スカイアリーナ)の運営等について

スカイアリーナは、児童生徒をはじめ、町民の健康増進に寄与することが期待されている。一方、建設費をはじめ、町財政に合わない規模との指摘もあり、今後の運営、維持管理に不安を抱く町民も多い。

問 駐車場など付帯施設を含めてアリーナの整備に係る総額は。

答 (教育長) 駐車場整備工事、備品案内看板設置、落成式典費用等を含め、整備費用の総額は現時点で、44億3,470万円となっている。

問 毎年の維持管理経費は。

答 (教育長) 光熱水費、火災保険料、設備点検保守等の維持管理経費は、約3,600万円。これ以外に、指定管理者に支出する人件費、事業経費、管理費等で約1,600万円、フィットネスマシンのリース料で約600万円を見込んでいる。

問 利用促進にむけてどのような取り組みをしているのか。

答 (教育長) 戦略的な広報活動として、メディアを活用した広告や、法人会員の拡大に向け、事業所訪問等も実施していく。SNS等を活用した情報配信など、Jヴィレッジと連携した広報活動も展開していきたい。

町政を問う！



◆救急医療について

ふたば医療センター附属病院（※以下、「ふたば医療センター」）が昨年4月23日から診療が開始され、二次救急医療をはじめとする双葉地域に必要な医療を確保し、二次、三次救急医療機関の負担軽減を図るものと期待されている。

問 当町からふたば医療センターへの救急搬送はどのくらいあったのか。
答（町長） 当病院が開院した平成30年4月23日から平成31年1月31日までの救急搬送者数は、111人となっている。同期間内の救急搬送者の総数は177人あり、全体の62・7%が当病院への搬送となっている。
 なお、救急搬送された111人のうち、檜葉町に住所を有する人数は、80人となっている。

問 ふたば医療センターに当町から1回で搬送された患者数は何人か。また、いわきや相馬地区へどのくらい搬送されているのか。
答（住民福祉課長） 搬送者のうち94名が1回でふたば医療センターへ搬送されており、いわき市医療センターへ13名、労災病院へ14名、相馬市へ1名、また広野町へ8名が搬送されたとの報告を受けている。

問 平均、何回目の連絡で病院へ搬送されたのか。病院が決まるまでの待ち時間は、平均どのくらいか。
答（住民福祉課長） ふたば医療センターに1回目で搬送されたのが84%、2回目目が9%で、約95%の方が2回目までに搬送されている。富岡以外では、いわきに搬送された66件のうち1回目60%、2回目19%と80%弱が1回、2回で搬送されている。

問 病院への連絡が最大何回で、搬送の受け入れがされたのか。
答（住民福祉課長） 最大11回目で搬送されたという、別の医療機関の事例の報告を受けている。ふたば医療センターに決まるまでに滞在した最大時間が68分となっており、これに搬送時間を加えると、約1時間半程度は要したと推測される。

問 輸血剤の保存がないため、ふたば医療センターで受け入れられなかったという事例を聞いている。なぜ救急センターなのに輸血剤の保存がないのか。
答（住民福祉課長） 通常、ふたば医療センターでは輸血する血液はストックされていない。急患の連絡が入った時点で、いわきもしくは原町から血液の救急車で通常30分程度で届くということで、保存期間もあるため在庫がない状況と聞いている。

問 ふたば医療センターにも、血液を保存する施設ができないか。
答（住民福祉課長） 全国的に見ても血液が不足している状態であり、1医療機関にある程度の保存はできないという報告を受けている。

問 人工透析の今後の対応状況はどのようになっているのか。
答（町長） ふたば医療センターには、血液透析の機器があるが、これは救命医療用であり、一般の人工透析を受け入れる位置付けになっていない。今後、救命医療用として使用すると報告を受けている。

問 町内に透析する場所があれば帰ってきたいという人もかなりの人数いる。町内に、透析できる医療機関を何とか誘致してもらいたい。
答（町長） 当然帰還するためには、医師の確保やしっかりとした病院の確保なども条件に入ってくるので、国・県などに要望をしている。

問 現在、人工透析を受けている町内の患者さんは何人いるのか。
答（住民福祉課長） 26名です。

問 26名中、檜葉町から通院している人は何名か。
答（住民福祉課長） 10名おり、医療機関による送迎や自家用車で通院している。

問 町内にも、透析可能な民間の医療機関に、町としても働きかけをしたい。
答（町長） 透析処置が可能な民間の医療機関に、町としても働きかけをしたい。

総務環境常任委員会

今後の町の財政状況

【調査日：平成31年1月23日】

区分	年度	充足値	21	22	23	24	25	26	27	28	29
経常収支比率 ※1	75% 以下		94.1	90.9	89.8	119.9	104.1	100.3	71.1	87.6	77.4
公債費負担比率 ※2	15% 以下		6.9	6.4	4.1	3.5	3.4	3.4	2.8	2.0	1.5
財力指数 ※3	1.0 以下		1.12	1.04	0.95	0.93	0.89	0.86	0.82	0.81	0.84
実質収支比率 ※4	3~ 5%		9.1	9.2	17.0	29.2	40.8	50.2	8.9	53.9	96.8

町では、復興計画に基づき大規模な復興事業を実施しているが、「復興・創生期間」が終了する令和2年度以降の財政見通しは不透明な状況にある。当委員会では、今後の町の財政状況や決算等の推移、今後の課題等について調査した。

1 財政指標の状況

- ※1 経常収支比率：人件費や公債費などの経常的経費に地方税や普通交付税などの経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す指標。
- ※2 公債費負担比率：公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合をいい、その率が高いほど、財政運営の硬直性の高まりを示す指標。
- ※3 財力指数：地方公共団体の財力(財源の余裕度)を表す指標で、指数が高いほど普通交付税算定上の留保財源に余裕があるといえる。
- ※4 実質収支比率：標準財政規模に対する実質収支の割合で、実質収支とはその年度に属すべき収入と支出の実質的な差額で、「黒字」または「赤字」を表す指標。

2 電源立地地域対策交付金等の現状

- 町の交付実績額
 - ・昭和49〜平成29年度
 - ・平成30年度
 - 計
- 約291億円
約10億円
約301億円

○福島第二原子力発電所が現状(みなし稼働+延長)のままの場合(A)と、仮に平成30年度廃止となった場合(B)の10年間の収入額の試算

西暦	(A)みなし稼働継続 (電源交付金の試算額)	(B)廃止の場合 (廃炉交付金※1+電 源交付金※2の試算額)	(B)-(A) 廃止に伴う減収額
2019	9億9,400万円	6億5,500万円	▲3億3,900万円
2020	9億8,800万円	5億7,000万円	▲4億1,800万円
2021	9億8,800万円	4億8,900万円	▲4億9,900万円
2022	10億8,800万円	4億5,900万円	▲6億2,900万円
2023	11億8,800万円	5億0,900万円	▲6億7,900万円
2024	11億8,800万円	4億0,800万円	▲7億8,000万円
2025	11億8,800万円	4億0,800万円	▲7億8,000万円
2026	11億8,800万円	3億0,700万円	▲8億8,100万円
2027	11億8,800万円	3億0,700万円	▲8億8,100万円
2028	11億8,800万円	2億0,700万円	▲9億8,100万円
計	111億8,600万円	43億1,900万円	▲68億6,700万円

- ※1 廃止年度の次年度以降10年間、廃炉など原子力発電所を取り巻く環境変化が立地地域に与える影響を緩和することを目的として、原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金(いわゆる廃炉交付金)が交付される。
- ※2 水力発電分などの電源交付金は継続して交付される。

3 まとめ

町財政の状況については、健全性を保持しており、安定した財政運営が図られていることを確認できた。

しかし、人口減による町税の減少や新設した大規模な公共施設の維持管理経費による財政負担の増加、今後の福島第二原子力発電所の廃止措置の決定によっては電源交付金の大幅な減少が予想されるなど、町の財政運営上のマイナス要因がいくつも見受けられる。

法定外目的税の新設など新たな財源の確保と一層の事務事業の効率化や歳出削減を図り、「復興・創生期間」終了後も健全な財政運営の維持に努めるよう求めた。

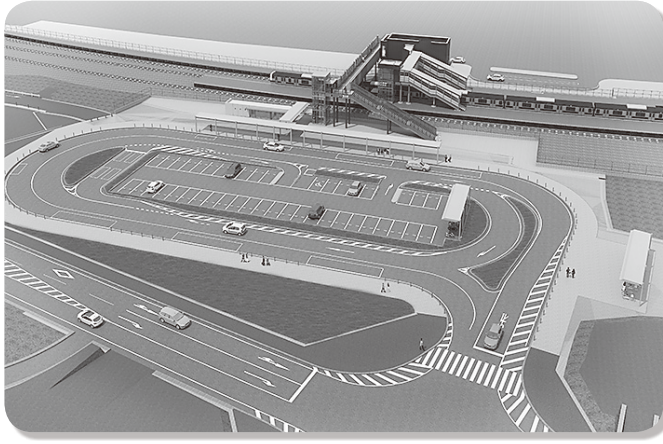


特別委員会の様子

経済福祉常任委員会

① 竜田駅東側開発事業の進捗状況

【調査日：平成31年2月7日】



竜田駅東側の完成イメージ

町では、復興計画に基づき、竜田駅東側地域の開発事業を実施している。当委員会では、この進捗状況について、担当課より説明を受け、現地にて整備状況を調査した。

1 新たな町並みへの開発・整備

檜葉町復興計画の土地利用計画に基づき、平成26年3月に「檜葉町土地利用計画アクションプラン」をとりまとめ、新たな町並みへの開発・整備を推進。

○エリアの整備促進

① 竜田駅東側エリア

② コンパクトタウン

(笑ふるタウンならは)

③ 産業再生エリア

(南工業団地・北産業団地)

2 竜田駅周辺(東側エリア) 整備

地域活動における多様な機能の結節拠点の形成を図るため、東西自由通路及び駅前広場、居住・宿泊エリア等の整備を進めている。

○東西自由通路及び橋上駅舎、駅前広場(東口ターミナル)、屋外トイレ

・JR東日本と連携し、令和2年6月供

用開始予定。

○宿泊施設

・当初予定していた進出事業者が整備途中で破産したため、新たなホテル事業者を誘致中。

○企業宿舎(350戸)

・平成29年3月から一部供用開始。

平成29年6月完成。

○事業用地

・テナントビル(6事業者)と4事業者

が操業中。総従業員数139名(1月

30日現在)



竜田駅東側のテナントビル

3 まとめ

今回調査した竜田駅東側開発事業は、笑ふるタウンの整備と同様、町の復興をアピールする重要な施策の一つである。既に完成し供用を開始している企業宿舎や事業用地、整備が開始した駅前広場については、新たな町並みの整備が順調に進捗していることが確認できた。

しかし、本事業の中核を成す宿泊施設整備が、進出企業の撤退により未だ決定しておらず、新たな進出事業者の誘致を進めるよう強く要望した。また、整備途中での破産により現場の安全対策が不十分であり、周辺住民の安全確保の面から最低限の安全対策を講じるよう担当課へ求めた。



現地にて整備状況を調査

経済福祉常任委員会

②農産物産地化の先進地視察

【調査日：平成31年2月12日】

町では、農業の再生を復興の柱に位置付け、震災以前より主力作物だった水稲栽培に加え、新たな農産物としてサツマイモの栽培に取り組んでいる。

当委員会では、今後の町の農業再生に資するため、農産物産地化の先進地として、町とサツマイモ栽培で協定を結んでいる白ハトグループが運営している農業体験施設「なめがたファーマーズヴィレッジ（茨城県行方市）」を視察し、サツマイモの産地化への取り組みや農業を中心とした新たな町おこしなどについて学んだ。



体験型工場内を視察

1 なめがたファーマーズヴィレッジ

平成27年10月に茨城県行方市に開業した農業体験施設であり、サツマイモの生産（第1次産業）、加工（第2次産業）、販売（第3次産業）まで一貫した「第6次化」を白ハト食品工業株式会社のグループ企業（以下、白ハトグループ）が運営している。

○所在地 茨城県行方市
○敷地面積 約20万坪

＝東京ドーム15個分

○従業員数 白ハトグループ社員40名、地元雇用約160名

○施設概要

①商業棟：廃校となった小学校を改修し、お菓子やパンなどサツマイモ加工食品の販売店舗、地元野菜の直売所、レストランやカフェ、体験型工場の「やきいもファクトリーミュージアム」などを運営。

②工場棟：同様に廃校となった小学校の体育館を改修し、サツマイモ加工工場として操業。

③農地：耕作放棄地等を集約し、サツマイモをはじめ米、レンコン、果物などを栽培しており、収穫体験が可能。

④貯蔵庫：最大1,200トン収容のサツマイモ用貯蔵庫で、洗浄棟も併設している。

⑤その他：キャンプ場や自然を体験できる森や広場、公園など。

・来場者数 昨年実績が年間27万人
将来的には年間50万人が目標

・事業目標：サツマイモの第6次産業に、観光、交流、子育て、地域貢献、IT農業、教育の6つを加えた第12次産業を目指す。

2 檜葉町での取組み

平成29年より、白ハトグループと協定を締結し、サツマイモ栽培への取組みを開始。

平成29年 1.3 ha（実証栽培）

平成30年 13 ha

平成31（令和元年） 30 ha（予定）

↓将来的には50 haを目指す。

町では、平成31（令和元年）年度に行方市よりも大規模な貯蔵庫を整備予定。白ハトグループは、今後町内で農業生産法人を設立し、本格的に参入する計画である。

3 まとめ

今回研修した行方市での取組みは、農業の再生や特産品の栽培・耕作だけでなく、観光地としての交流人口の増加や新たな雇用の創出など、地域全体の活性化に繋がるといふ良い成功例であった。町でも同様に、サツマイモへの取組みが進展していくことを期待する。

今後、サツマイモが町の特産品となるためには、行方市のように町、JA、事業者が緊密に連携し、さらに既存の農家から理解を得て、共存できる環境づくりが重要である。



サツマイモ用貯蔵庫

= 議会の足跡【2月～4月】 =

日付	2 月
1	議会運営委員会
4	第2回2月議会臨時会
7	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会(竜田駅東側開発事業進捗状況)
12	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会(農産物産地化:行方市)
18-20	福島県原子力発電所所在町協議会視察研修(鹿児島県)
25	議会全員協議会(スカイアリーナの運営)
	子ども議会
	双葉地方町村議会議員研修会(浪江町)
27	双葉地方復旧・復興事業等警察連絡協議会総会(富岡町)
28	議会運営委員会



2月25日 子ども議会

日付	3 月
1	ふたば未来学園高校卒業式(広野町)
2	JFAアカデミー福島卒校式(静岡県)
4-5	議会合同委員会
7-11	第3回3月議会定例会
11	檜葉町東日本大震災犠牲者追悼式
13	檜葉中学校卒業証書授与式
16	あおぞらこども園卒園式
21	ならはスマートインターチェンジ開通式
22	檜葉南・北小学校卒業証書授与式
	議会運営委員会
25	第4回3月議会臨時会
	議会全員協議会(①原子力災害広域避難計画 ②財政運営戦略(本格復興編))

日付	4 月
1	辞令交付式
3	額賀自由民主党東日本大震災復興加速化本部長視察来町
5	JFAアカデミー入校式(静岡県)
6	あおぞらこども園入園式
8	檜葉南・北小学校・中学校入学式
	渡辺復興大臣視察来町
9	県立ふたば未来学園中学校開校式、中学校・高校入学式(広野町)
	双葉地方町村議会議長会議(福島市)
9	浜田復興副大臣と議会議長との意見交換会(福島市)
13	「ならはスカイアリーナ」落成式
14	大瀧神社例大祭
16	カントリーエレベーター・自動ラック式米農業用低温倉庫、水稻育苗センター落成式
17	「檜葉の風」を楽しむ会
20	Jヴィレッジ駅開業セレモニー
	Jヴィレッジグランドオープン記念式典
21	消防団春季検閲式
24	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会(リリー園・やまゆり荘)
25	道の駅ならは温泉施設再開セレモニー



令和元年6月定例会は、6月12日(水)から開会予定です。

【開会日は変更となる場合があります。予めご了承ください。】

※議会を傍聴される際には、決まりを守り静粛に傍聴されるようお願いいたします。

なお、席には限りがありますので、予めご了承ください。